

2026
10/30
第177号

議会だより のた

おもな
内容

第13回定例会（令和8年9月）など
村政を問う（一般質問）…… p6～p9

木質バイオマス発電所（株式会社 野田バイオパワーJ.P）

令和7年度決算を 認定

9 月
定例会



第13回野田村議会定例会が9月9日から18日までの10日間を会期に開催されました。
本定例会では、一般会計補正予算など議案16件、報告4件、認定6件を審議し、すべての案件を原案どおり可決しました。

令和7年度 おもな事業

○野田小学校整備事業（5億2,702万円）

小学校の整備工事費ほか。令和7年7月31日で完了。

○交流物産等複合施設整備事業（2億8,984万円、工事費ほか）

三陸沿岸道路の利用者等に対し、村への誘客促進のため、交流・物産等の機能を兼ねた複合施設を整備。展望休憩スペース設置工事ほか。

○交流物産等複合施設整備事業（3,001万円）

指定管理料、開業支援事業補助金ほか。

○自治体情報システム標準化・共通化事業（9,683万円）

国の標準準拠システムに移行するため、庁舎内システムや回線等の環境整備。

○学校給食センター事業（6,640万円）

児童生徒等に給食を提供、備品類の更新。

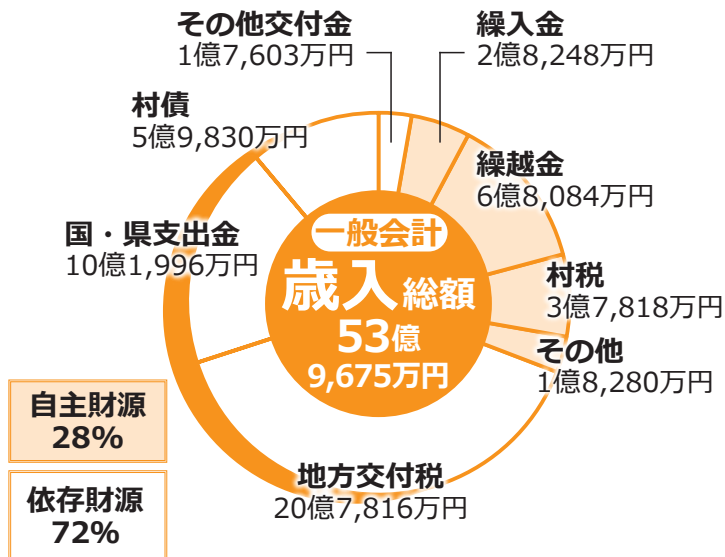


監査報告をする中村代表監査委員

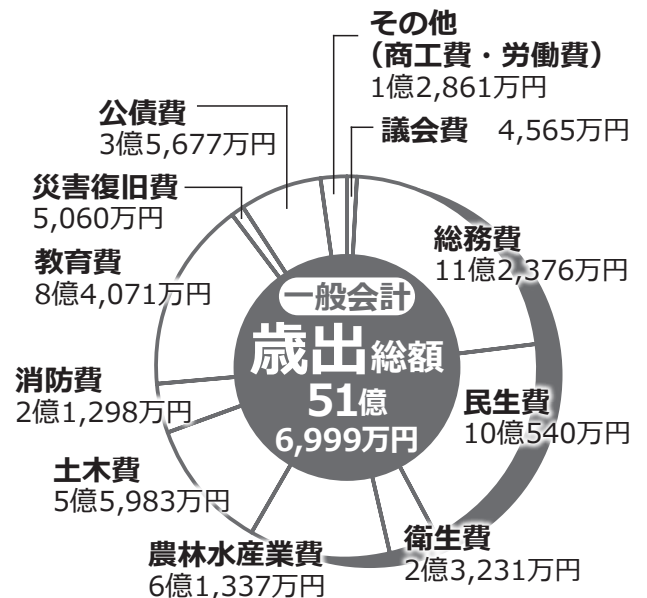
中村一浩代表監査委員は9月9日の本会議で、令和7年度一般会計、特別会計、公営企業会計などの審査意見を報告しました。その結果、各会計決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は証拠書類と合致しているものと認められました。また、各会計の予算執行及び関連する事務処理については、おおむね適正であると認められました。

監査委員 報告

令和7年度の 決算状況



野田小学校2年生が傍聴席から見学 (9/9)



各 会 計		決 算 額		収入未済額 (税金の滞納など)
		歳入 (収入)	歳出 (支出)	
一 般 会 計		53億 9,675万円	51億 6,999万円	7,622万円
特別会計	国民健康保険事業	4億 9,475万円	4億 8,264万円	523万円
	後期高齢者医療	5,765万円	5,740万円	0円
	国民宿舎事業	2,472万円	2,402万円	0円

公営企業会計		決 算 額		未収金
		収益的収入	収益的支出	
簡 易 水 道 事 業		1億 4,250万円	1億 3,945万円	831万円
下 水 道 事 業		3億 5,781万円	3億 2,231万円	1,229万円

※金額は四捨五入しています



新しい農業委員の任命に同意

任期満了となる農業委員会の委員の任命に関し、議案第9～16号が審議され、原案どおり任命することに同意しました。

委員の任期は令和8年11月27日から令和11年11月26日までの3年間で、任命された委員は次のとおりです。(50音順・敬称略)

【再任】小野紀行、八幡文耕、平谷東英、式又文雄、米田俊幸、明内伸一

【新任】小谷地明子、新山麗佳



決算特別委員会



議長を除く議員8名で構成された決算特別委員会（山田陽子委員長）は9月15・16日の2日間、令和7年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算、公営企業会計決算を審査しました。

審査の結果、いずれも認定すべきものとして、9月18日の定例会本会議で報告しました。



山田陽子 委員長

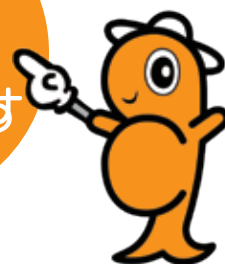
歳出決算

『コンビニ収納システム使用料』

問：利用状況、くわしい内容は。

答：納税者がどんな時間帯でも納められるよう利便性を向上している。令和7年度の件数は1万4,141件。

質疑の
一部を
紹介します



歳出決算

『多職種連携教育事業』

問：いろんな分野の方と交流を深め、将来的な村の効果を狙うものだと思う。これまで何回も行っているが、どのような効果を得られているか。

答：学生の方々に村の医療機関や包括支援センターの現状を感じてもらっている。また、荒海団などいろいろな関係者との交流を行い、その後も交流が続いている。

歳入決算

『がんばるのだ応援寄附金』

問：令和6年度より減少しているが要因は。

答：水産物を取り扱っている加工業者が村内から撤退し、ウニなど高額な返礼品を提供できなくなったことがおもな要因。

歳出決算

『統合型地図情報システム更新事業』

問：「災害時要援護者支援サブシステム」は、どのような効果を期待するものか。

答：災害時の要支援者に登録されている方をシステム上の地図にしるし、要支援者がどこに住んでいるかを地図上に表記。今後活用していく。

問：要支援者名簿ができている方は地図上に示してあるということか。

答：そのとおり。

歳出決算

『地域活性化アイデア実現補助金』

問：こういった内容に対しての補助か。

答：4団体に補助。

- ・まほろばローリング楽団…村内でのライブ活動
- ・野田村にICU旋風を吹き起こす会…野田まつり参加や小・中学校での英語授業
- ・野田村商工会青年部…野田中学校吹奏楽部のオリジナル曲を制作
- ・野田はまなす会…「心はいつものだ村民」登録者との合同交流会の実施

歳出決算

『村営バス運行事業』

問：令和7年度は利用者が約5,200人で、令和6年度より2,000人ほど減っている。要因は何か。

答：「道の駅のだばあぶる」が新たに移転オープンしたことで、ダイヤ改正をしている。久慈翔北高校野田校舎のバス停を廃止したことで人数が減っていると思われる。

歳出決算

『国民宿舎事業』

問：サウナやお風呂等を修繕したが、利用客が増えた実績や利用者からの声はあるか。

答：サウナのヒーターの修繕や大浴場のシャワールの修繕をおこなった。利用者数に直結してはいないが、シャワーも安定するようになり、サウナも良くなったという声は頂いている。

令和8年度

一般会計補正予算



おもな内容

18日に審議が行われた、令和8年度の一般会計補正予算は、総額に歳入歳出それぞれ1億8188万8000円を追加し、

補正後の予算総額を41億2224万8000円としました。

歳出のおもなものは、

村債管理基金積立金、道路除排雪経費及び簡易水道事業会計補助金等に要する経費のほか、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による高齢者物価高騰対策支援事業などです。

●高齢者物価高騰対策支援事業
75歳以上の方に村共通商品券5000円分を交付。

●中平遺跡遺構保存業務委託
野田小学校に隣接する竪穴住居跡遺跡保存の経費。

●岩手県中学校総合体育大会等出場費補助金
野田中学校の柔道部、バレーボール部、ソフトテニス部が県大会へ出場。さらに東北大会に柔道部が

出場。吹奏楽部は県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、22年ぶりの東北大会へ出場。

村政を問う

議員 **3名** が登壇

- 一般質問は、村の行財政全般に関し、原則定例会で村の将来への方針や目標、地域や住民生活がよりいっそう豊かになるための課題などを質問できます。
- 質問時間は、1人60分まで、1つに3回まで質問できます。

質問議員（質問順）	内 容	ページ
たんのかずこ 丹 野 和 子	1 有害鳥獣防除対策事業補助金について 2 農業資材価格上昇に対する対策について 3 要支援者の個別避難計画作成について 4 野田村地域おこし協力隊について	7
なかがわのぼる 中 川 昇	1 県立久慈病院の医療体制について 2 地域活性化起業人制度について 3 「ふるさと住民登録制度」の実施について 4 人口減少への対応について	8
やまだようこ 山 田 陽 子	1 大雨・洪水避難対策について 2 緊急通報について 3 有害鳥獣被害対策について 4 遊具等の暑さ対策について 5 第3期野田村まち・ひと・しごと創生総合戦略について 6 城内二又線通りの太陽光の街路灯について	9



丹野 和子 議員

有害鳥獣防除対策事業

補助金を拡充すべき

村長 補助内容、制度改定を検討

問

有害鳥獣による被害は年々増加している。村では有害鳥獣防除対策事業を実施しているが、内容は経費の2分の1、年額5万円を上限としている。生産拡大のために補助率と補助額の上限の引き上げが必要ではないか。

村長

有害鳥獣による農作物等の被害は年々深刻化している。農家の収入減少、営農意欲の低下にも直結するため、農業振興を図るうえで喫緊の課題である。令和8年度、この補助金は要望が多く6月議会に予算を増額した。今後の状況をふまえ、農業の担い手支援のあり方を検討していく。

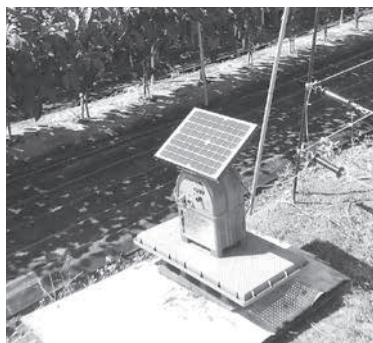
再質問

農業振興のため、補助率や上限を改定する方向での制度改革を進められないか。

村長

農業者の規模等を聞き取りし、足り

ない分は補助するなど、制度内容等の改定を検討していく。米農家には、地域一体で電気柵を設置できるような話し合いを進めたい。



設置された電気柵



農業資材購入に援助を

問

農業資材の価格上昇が続いている。特に肥料は値上がりが顕著である。今後の営農のためにも、村民に価格を下げて販売する方策は考えられないか。

村長

農業経営に対して、「園芸作物等生産拡大支援事業費補助金」により資材や種苗の購入費を支援している。今後の情勢や国、県の動向をふまえ、支援の範囲などを慎重に検討していく。

また、肥料は本来、国や県等が全般的に農業者への補助等を支援するのが最善である。村が支援するには個々の農家の状況がつかみづらく、公平性を保てない恐れがある。なんらかの基準等設定や他市町村の状況をふまえ検討したい。

問

要支援者の避難

村の要支援者の個別避難計画作成数は、令和7年2月末が54名、令和8年6月には24名減の30名で減少理由は施設入所、亡くなられた方、世帯構成の変化などであった。個別避難計画作成が必要な方はどれくらいか。また、今後の計画作成をどう進めるのか。

村長

個別避難計画が必要な対象者数は「避難行動要支援者名簿」を8月末に更新し555名である。今後、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・自主防災組織などと連携し、相談支援や訪問活動の機会を活用し、個別避難計画の作成を進めたい。

問

計画作成された要支援者が安全に避難できるよう、団体・組織が、どう連携し動くのか。村民への周知が必要ではないか。

村長

避難支援は地域の支え合いが大切と考える。個別避難計画の意義や地域での助け合いの重要性を村広報など通じ、村民へ周知していく。

【その他内容】

○野田村地域おこし協力隊について

医療体制充実を

村長 国・県に医師偏在解消を強く要望



中川 昇 議員

村長

診療科別の常勤医師
在籍と不在の状況は、



地域医療の拠点「県立久慈病院」

問

久慈管内の民間医療機関の閉院による減少に伴い、久慈医療圏の中核病院である県立久慈病院の医療体制の確保、充実は喫緊の課題である。常勤医師の確保ができず診療科の減少とともに、週1〜2回の診療科もあり、住民の受診機会が損なわれる状況になることを危惧する。住民の不安解消と地域医療の拠点として診療体制充実に向け、関係機関へ強く働きかけていくべきと考えるがどうか。

村長

人口減少や少子高齢化が進む中、地域の担い手不足、産業の人材不足、情報発信力の強化など、村が抱える課題は多様化している。民間企業などがある専門的な知識、経験、ネットワークを地域づくりに生かすことが重要と認識している。地域活性化起業

問

多くの自治体は人口減少や高齢化、担い手不足といった課題に直面している。こうした課題に対し、企業が社員を一定期間自治体に派遣し、実務に携わることで地方の活性化につながるものである。自治体は財政負担を抑えて専門性の高い人材を確保できる。地域づくりと経済活性化に向けた新たな取り組みとして制度を導入すべきだが、どう考えるか。

「地域活性化起業人制度」の導入を

常勤医師11科22名、休診中の科は麻酔科と血液内科の2科である。専門常勤医師の不足は深刻な課題である。今後の動向等注意しながら、県内市町村と一緒に、常勤医師の確保と医師偏在の解消を強く要望していく。

問

地域や地域の人々と多様に関わる人々、いわゆる「関係人口」が注目されている。関係人口の規模や地域との関係性を可視化できるように、国は住所地以外で地域に継続的に関わる住民を登録する「ふるさと住民登録制度」を創設すると、自治体向けガイドラインを策定している。地域の活性化の鍵となる関係人口拡大策の一つとして取り組みが必要と考えるがどうか。

「ふるさと住民登録制度」の実施を

人制度は、地域課題の解決や取り組みを前進させるための有効な選択肢の一つであり、受け入れ体制等総合的に検討していきたい。

村長

関係人口は、人口減少時代での地域活性化に資する貴重な人材だと十分認識している。村では交流・関係人口層とのつながりの価値に着目するとともに、震災を契機に生まれたさまざまなつながりを可視化し、末永い交流を図ることを目的とする「心はいつものだ村民」登録制度を平成27年度から実施している。

人口減少への対応は

問

2025年国勢調査（同年10月1日現在）の速報値が発表され、県内すべての市町村が人口減少団体となり、本村の人口は3613人、前回2020年調査より、323人減で8.2%の減となっている。想定を超え、人口減少の動向を現実としてとらえ、高齢者等住民の生活支援、地域コミュニティの維持など、持続可能な地域づくりへの対応や子育て支援など総合的な対策の継続が必要。今後どう取り組むか。

村長

人口減少は全国的な課題であり、令和8年3月策定の「第3期野田村まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少対策や地方創生等の取り組みを推進していく。人口減少はさまざまな要因があり、産業の振興や子育て支援、交流・関係人口の拡大などを推進し、活力ある取り組みを継続して実施したい。



山田 陽子 議員

土砂災害・洪水防災

見直しによるハザードマップ更新は

村長 令和8年度更新する

問

当村は大雨など河川の氾濫による洪水被害や土砂災害が想定される。気象庁は5月29日から新たな防災気象情報の運用を開始したが、防災気象情報による避難指示の判断は。

村長

4種類の災害に、それぞれの警戒レベルが5段階に分かれている。予想雨量や各種情報をもとに避難情報の発令を判断する。

1	2	3	4	5	警戒レベル
早期注意情報	注意報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保	村の対応
災害への心構えを高める	避難行動を確認	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険直ちに安全確保	住民の行動

再質問 平屋のため、垂直避難が難しい場合の行動は。

村長

9月7日の事例では、最悪の場合に備えて、明るい安全な時間帯に避難できるよう判断し、警戒レベル3高齢者等避難情報を発表した。今後も情報収集に努め、事前に避難できる体制づくりに取り組む。

再質問

夜間に高齢者等避難情報が発令されたときの対応は。

村長

通常の予報や関係機関との情報をふまえて避難判断する。

問

避難行動要支援者名簿の作成状況は。

村長

令和8年8月末現在で555人の名簿が登録された。

再質問

個別避難計画はどう作成しているか。

村長

この制度を周知したうえで希望者は避難時、心配や支援が必要であることを包括支援センター、民生委員、福祉介護関係者等が訪問した際、あるいは面談や通常の状況を把握する中で知らせてほしい。情報提供等を担当課で順次整備していく。

問

「避難行動要支援者の避難対応は。」

村長

自分自身の身の安全を守る「自助」が基本。避難行動要支援者名簿や個別避難計画で、地域住民の「共助」と行政の「公助」を組み合わせて対応する。

個人や自主防災組織などが避難場所までの距離など地域の実情に応じての検討が重要と考える。

再質問

個別避難計画の対象者の避難対応は十分か。

村長

行政や消防だけでは困難であり、地域での話し合いや近所との日頃からの声かけが大事と考える。

問

土砂災害・洪水防災ハザードマップの更新は。

村長

宇部川と安家川のほか新たに5河川の浸水想定区域が指定された。令和8年度に更新する。

問

災害時の移動式トイレを整備する考えは。

村長

簡易トイレ、マンホールトイレは備蓄しているが、トイレトレーラーなどの移動式トイレは未整備であり、今後検討したい。

救急車の迅速な対応を

問

令和8年4月1日から119番通報の受

信、出動指令、無線通信などの消防指令業務が盛岡市のいわて消防指令センターを通じて一括対応となり、共同運用が開始されている。しかし、地割地番を伝えても、指令センター側から場所が特定できないなどと言われ、時間がかかり非常に困ったとの声を聞いた。問題解消の対応策は。

村長

指令システムの地図データが令和5年9月時点のもので、正確な位置確認ができない場合があると聞いている。現在は、いわて消防指令センターで判別不明な場合、指令センタースタッフ、各消防本部通信員及び通報者の三者による通話で出動場所を特定すると聞いている。

【その他内容】

○有害鳥獣被害対策について

○遊具等の暑さ対策について

○第3期野田村まち・ひと・しごと創生総合戦略について

○城内二又線通りの太陽光の街路灯について

議案一覧

第 13 回定例会 9月9～18日

番 号	議 案 名	議決結果
報告第 1 号	株式会社のだむらの経営状況に関する書類の提出について	—
報告第 2 号	株式会社涼海の丘の経営状況に関する書類の提出について	
報告第 3 号	令和 5 年度及び令和 6 年度決算に基づく野田村健全化判断比率の修正の報告について	
報告第 4 号	令和 7 年度決算に基づく野田村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
認定第 1 号 ～第 6 号	令和 7 年度野田村・各会計歳入歳出決算認定について	認定 (賛成全員)
議案第 1 号	令和 8 年度野田村一般会計補正予算（第 3 号）	可決 (賛成全員)
議案第 2 号	令和 8 年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	
議案第 3 号	令和 8 年度野田村簡易水道事業会計補正予算（第 2 号）	
議案第 4 号	令和 8 年度野田村下水道事業会計補正予算（第 2 号）	
議案第 5 号	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 6 号	野田村印鑑条例の一部を改正する条例	
議案第 7 号	特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 8 号	財産の取得に関し議決を求めることについて	
議案第 9 号 ～第 16 号	農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	同意 (賛成全員)
発議案第 1 号	ゆたかな学びの実現、定数改善及び義務教育費国庫負担率 2 分の 1 の復元に係る意見書の提出について	可決 (賛成全員)

※議長は採決に加わらない

請 願

9 月定例会で
請願 1 件を審議
しました。

受理番号	請願第 8 号
件 名	ゆたかな学びの実現、定数改善及び義務教育費国庫負担率 2 分の 1 の復元に係る意見書採択を求める請願
請 願 者	岩手県教職員組合県北支部 支部長 小関 高博
紹介議員	山田 陽子、丹野 和子
付 託 先	総務教民常任委員会
審査結果	採 択 ➡ 国へ意見書提出

議会に来てみませんか



①

役場 2 階に議場があります。
傍聴席入り口で
傍聴席のルールを確認し、
「傍聴人受付簿」用紙に
「氏名」「住所」などを記入します。



②

記入後、身なりを整え、
入場してください。
帽子は脱ぎましょう。
写真撮影、録音はできません。



次の定例会は
12 月です！

おもな議会の動き



● 7 月 ●

- 5 日 北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会総会並びに決起大会（葛巻町）
- 5 日 第44回岩手県消防協会久慈地区支部消防操法競技会結果報告会
- 7 日 第11回野田村議会臨時会
- 8 日 市町村要望
- 9～10日 岩手県町村議会議長会第1回政務調査会等（岩泉町）
- 11日 小田祐士氏 叙勲受章を祝う会
- 12日 花巻市合併20周年記念式典（花巻市）
- 13日 国道281号整備促進期成同盟会総会及び要望会（盛岡市）
- 15日 北部地区町村議会議員スポーツ交流会・情報交換会（軽米町）
- 21日 久慈地区市町村議会連絡協議会定例総会（久慈市）

● 8 月 ●

- 5 日 町村議会議員夏季議員大学講座（盛岡市）
- 6～7 日 北部地区町村議会議長会県政要望（盛岡市）
- 12日 村政調査会
- 15日 野田村戦没者慰霊祭
- 20～21日 三県合同中央研修会、県選出国会議員との懇談会（東京都）
- 21～23日 野田まつり
- 28日 八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会岩手要望（宮古市、盛岡市）

● 9 月 ●

- 4 日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 8 日 知事を囲む懇談会（盛岡市）
- 9～18日 第13回野田村議会定例会
- 29日～10/2 北部地区町村議会議長会行政視察研修（鹿児島県）
- 30日 岩泉町合併70周年記念式典（岩泉町）
- 30日 特別養護老人ホーム結の里・グループホームぬくもり施設敬老会



村政調査会で合葬墓を視察（8/12）



「野田まつり」お還り（8/23）

災害義援金・見舞金を送りました

野田村議会では、令和8年大槌町の林野火災および令和8年熊本地震により被災された方々への支援の一助として、災害義援金・見舞金を送りました。
議員一同、一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

電気を作っています

株式会社 野田バイオパワー J P を訪問

電力供給を担う「株式会社野田バイオパワー J P」を訪問し、お二人からお話を伺いました。

上川さん(写真左)は他県で発電事業に携わっていましたが、村に同社が設立されたことを機に地元に戻ってきました。一方、北田さん(写真右)は村内で別の仕事をしていますが、同社の発足当時から勤務しています。

同社は27名が勤務しており、昼夜を問わず交代制で工場を稼働しています。また、地域との交流にも積極的に取り組み、道路等の清掃活動や地域住民との懇親会など実



かみかわ ゆうき

上川祐樹さん(港)

きた だなおと

北田直人さん(本町)

施しています。

お二人は、「会社が長く続き、地域に貢献できるよう、これからも仕事に励んでいきたい」と今後の抱負を語りました。

議会だよりクイズ

問題



応募フォーム
議会だより のだ

今回の議会だよりには、さまざまな『のんちゃん』が掲載されています。その数はいくつでしょう？

- ① 3
- ② 7
- ③ 12

【前号の答え】 ③10件

【当選者】 松場里美さん、久慈結衣希さん、坂本大悟さん

正解者から抽選で3名に
「野田村共通商品券」をプレゼント！

【応募方法】 村ホームページ「議会だより のだ」応募フォーム（左側のQRコードを読み取るとかんたん）やはがきに答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、連絡先を記入してご応募ください。議会だよりに対するご意見もお待ちしています。

【応募先】 〒028-8201 野田村大字野田20-14
野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで

【締め切り】 12月4日消印有効

【当選発表】 次号発表

あしがき

現在の広報分科会による「議会だより」も一年が経ちました。これまで表紙と裏表紙は農林水産業を取り上げてきました。ご協力いただいた方々をはじめ、皆様本当にありがとうございました。皆様の要望は、できるだけ行政に届けていきます。今後は村内の事業所で働く方々も紹介する予定です。

丹野 和子

発行責任者

議長 米田 忠一

広報広聴常任委員会 広報分科会

委員長 丹野 和子
副委員長 米田 徳一郎
委員 小野寺 光男
委員 小野寺 豊

